

原っ子だより

学校通信 第12号
令和3年12月23日
文責 校長 徳本ひとみ



コロナ禍の中，地域やいろいろな機関の方々から，子供たちは多くのことを教わりました。

今年度，コロナ禍にも関わらず，多くの外部講師の方々に大変お世話になりました。様々なジャンルでご活躍の先生方から子供達は多くの事を学ばせていただきました。子供達は，「知る事って楽しいなあ」と心から感じたり，今まで気づかなかったことや考えなかったことに目が向くようになったり，地域や社会に感謝したりと，少し成長したような気がします。本当にありがとうございました。

【6月 防犯教室3・4・5・6年生 広警察署 仁井原様 杉町様】

「スマホやネットの上手な活用法について」



合い言葉「あとがこわい」
を知りました。

あ：会わない
と：撮らない
が：画像を送らない
こ：個人情報をアップしない
わ：悪口を書かない
い：いじめない



知らなかったことをたくさん学ぶことができました

感謝の気持ちを込めて敬礼！

仁井原様は，「みんなが楽しく暮らせるためには思いやりの心が大切です。基本的なこととして，「自分がされていやなことは絶対にしない。」 「自分がいいと思うこと，されて嬉しいことをしてあげましょう。」と言われました。

【7月 租税教室6年生 呉納税貯蓄組合連合会寺井事務局長様】



税金のない世の中だったとしたら，社会はどうなるのかな？

1億円のレプリカが
重いぞ！

お知らせ

「ふれあい相談窓口」（毎月第3火曜日）を設けています。お子様のことで気にかかることがあれば，遠慮なく学校にご相談ください。 TEL 0823-71-7756

